

さとしょう

議会だより

No.122

2025.10.31



岡山県 里庄町議会



△過去の議会だよりはここからご覧になれます。

郷土愛爆発

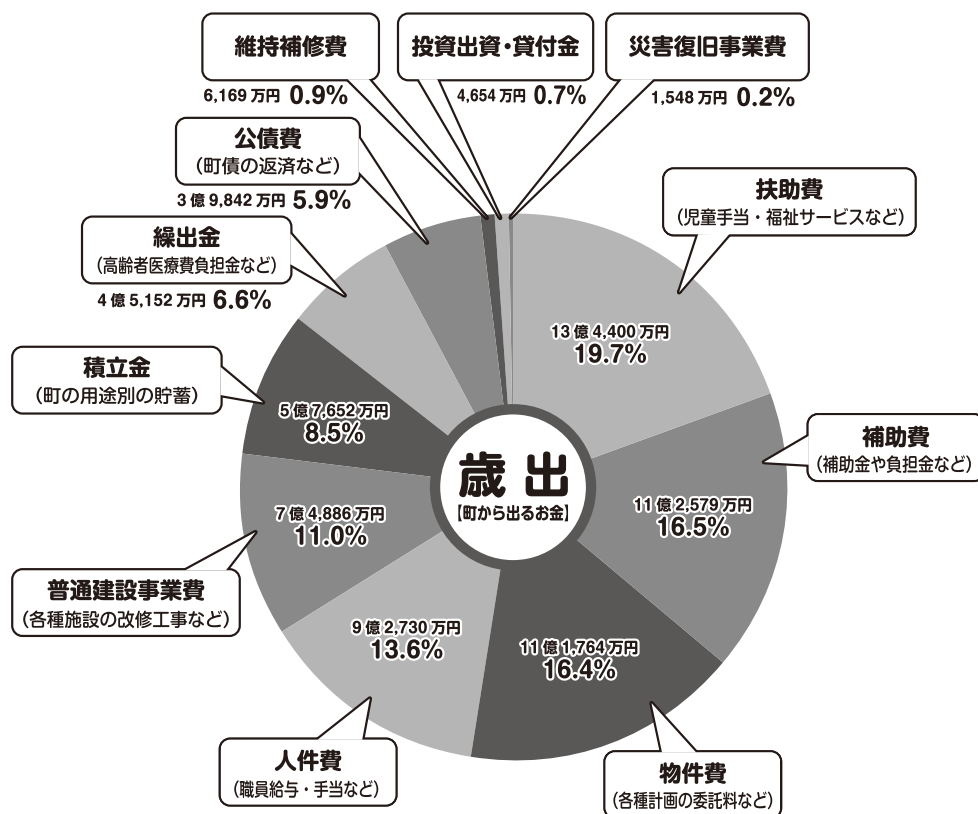
9月

定例会

令和7年第6回定例会は9月1日から16日までの16日間の会期で行われました。議案は条例の制定1件、条例の一部改正1件、令和7年度補正予算9件、令和6年度決算の認定9件、人事案件1件など21件が上程され、すべて原案通り可決・認定・同意されました。

令和7年度補正予算、並びに令和6年度の決算は予算決算委員会に付託され審査を行いました。なお、一般質問には9人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

全会一致で認定



9月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	70億9857万円	(5億1521万円)
国民健康保険特別	11億1798万円	(281万円)
介護老人保健施設特別	6241万円	(3241万円)
介護保険特別	13億3612万円	(3958万円)
後期高齢者医療特別	2億2417万円	(206万円)
育英奨学資金給与特別	148万円	(12万円)
町営墓地特別	553万円	(15万円)
水道事業会計		
収益的收入	2億6863万円	(△48万円)
収益的支出	2億6822万円	(△78万円)
資本的支出	1億296万円	(6万円)
公共下水道事業会計		
収益的收入	4億3536万円	(17万円)
収益的支出	3億7186万円	(17万円)
資本的收入	2億3795万円	(11万円)
資本的支出	4億4026万円	(11万円)

※千円以下は切り捨てています

人事

里庄町教育委員会委員
任命

里庄町新庄

小野 愛氏

令和6年度
決算

一般会計歳出 68億2597万円

令和7年度各会計補正予算も全会一致で可決



秋の味覚・芋ほり(東小学校)

町の借金と貯金(令和6年度の状況)

令和6年度起債額(借金)

一般会計	5億5717万円
下水道事業会計	1億8270万円

令和6年度公債費(元利償還金)

一般会計	3億9842万円
水道事業会計	204万円
下水道事業会計	2億4265万円

令和6年度末起債残高(元金)※

一般会計	36億4564万円
水道事業会計	199万円
下水道事業会計	34億 599万円

一般会計の基金(貯金総額)

29億9751万円

財政調整基金	13億6349万円
いきいき里庄基金	1億円
地域振興基金	5893万円
開発基金	2億4341万円
減債基金	2億5918万円
ふるさと保全基金	5760万円
文化振興基金	3億7323万円
スポーツ振興基金	8200万円
教育施設整備改修基金	2億4178万円
土地開発基金	1億 302万円
環境整美基金	5039万円
古山基金	1008万円
森林環境譲与税基金	436万円
未来を拓くふるさとまちづくり基金	5000万円

※起債残高のうち、概算40.0億円が地方交付税に算入される見込み。

※端数処理をしているため合計は一致しません

令和6年度の 主 なる事業

このような事業を行いました

小児医療助成事業

7709万円

18歳までの子どもの医療費を無償化するものです。



児童手当事業

2億875万円

0歳～15歳までの支給対象を令和6年10月から18歳までに、第3子については22歳までに拡大しました。また、所得制限を撤廃しました。

自立支援給付事業

3億959万円

介護給付費、訓練等給付費、補装具の公費負担などです。



保育園施設型給付事業

3億1821万円

町内2園に給付。

児童発達支援事業

1億759万円

児童発達支援や放課後等デイサービス支援などです。



健康増進事業

3007万円

後期高齢者健診、がん検診など各種検診です。



母子健康事業

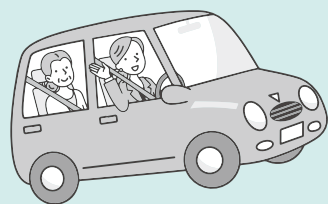
2807万円

妊婦・乳幼児健診、子育て支援などです。

予防接種事業

4690万円

インフルエンザ・新型コロナウイルスなどの予防接種です。



役場南駐車場整備事業

6087万円

役場南（郵便局前）に
115台分の駐車場を整
備しました。



道路新設改良事業

7778万円

道路の測量及び新設改
良工事を行いました。



総合運動公園災害 復旧事業

9212万円

つばきの丘運動公園の、
のり面の復旧工事です。



中学校施設環境 改善事業

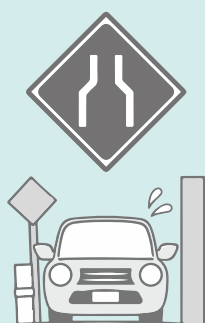
1億1393万円

中学校の屋外トイレの
建て替え、屋内トイレ・
パソコン教室の改修をし
ました。

狭あい道路整備事業

7079万円

町内7カ所の狭あい道
路を整備しました。



ふるさと納税事業

2億6354万円

寄附額5億7970万
円のふるさと納税返礼事
務委託料などです。



東小学校駐車場等 整備工事

2042万円

東小学校の正門前に駐
車場を整備しました。



この他にもいろいろな事業を
行ったよ！

令和 6 年度

決算

▼令和6年度決算に対する総括質疑は2人が行いました。
▼令和7年度補正予算に対し、1人が質疑を行いました。
▼教育委員会事務の点検及び評価に関する報告について、1人が質疑しました。

総括質疑

反省すべき点は

佐藤議員 令和6年度は昨年よりも収支額が大きく増えている原因は。

総務課長 令和5年度は繰越しが多く、実質収支額が2億6912万円で少なかった。

令和6年度の翌年度繰越しが、大きく下がっているのが原因。コロナで自粛もあり事業の削減、通常の事業にコロナ等交付金を充てたこと、ふさと納税寄附金が伸びたことが原因。

佐藤議員 第4次里庄町

振興計画に揚げた基本政策の中に、事故を防ぐための安全対策を目標に盛り込まれているが、東小學校角の信号機撤去は疑問を感じるが考えは。

農林建設課長 現在の位置に信号設置は、法令や

知見に基づいて最も安全確保できると判断した。新しい交差点は、利用する全ての人が安全に利用できるように設置した。

佐藤議員 結果は良かったが、反省すべき点は。

農林建設課長 安全になる方法など意見を聞きながら、施工できる所は施工していきたい。

佐藤議員 新しく道路を

造る場合、交通弱者の安全を考えなければならぬ。

どのように進めるのか。

農林建設課長 振興計画

後期計画にのっとり事業を進める。全ての人に対して交通安全を基本として進めていきたい。



新しい交差点

これをどのように評価するのか

仁科英議員 介護老人保

健施設里見川荘の令和6年度決算は、7500万円の黒字となった。最初に設定したルールで、半分を町に納入、残りを指定管理者に。これをどのように評価するのか。

総務課長 コロナによる

補助金と企業努力により、令和6年度に超強化型施設になり、4000万円の収入が増えた。安易に収入が増えたことで町への納入割合を増やすことにすると、企業努力を削ぎ将来的には収入が減り、サービスが低下してしまうので慎重に判断すべきである。

町長 介護老人保健施

設里見川荘の決算は、安定的に管理運営できている。

※超強化型とは、在宅復帰・在宅療養支援機能がもっとも高いと認められた施設のこと。高い基準を満たしている施設であることから、高い介護報酬を受けとることができる施設を意味します。

補正質疑

建設費、どの部分が高騰か

仁科英議員 焼却場建設費が2081万円増えたが、どの部分がどのように高騰したのか。

町民課長 当初の契約金額より物価スライドで2億6390万円が発生した。それを3市2町の負担率に基づいて計上した。



新焼却場

仁科英議員 12月15日に新焼却場が完成して、試運転を始めるということだが、来年の3月まではどのような状況になるのか。

その後、古い建物はどうなるのか。

町長 12月中旬から試運転で搬入が始まり、今の焼却場には受け入れられないという形になる。将来的には撤去することになると思う。

教育委員会報告質疑

学校と家庭とのやりとりは

佐藤議員 学校にタブレットを入れたことで、学力が低下しているのではないか。

教育長 全てのことをタブレットに頼ってやっていくことは全く考えていない。有効活用をしていくことが大前提。現時点でも学力は安定している。ここ何年かの統計を見てみると結果が出ている状況。

佐藤議員 以前は学校と家庭とのやりとりを手帳でしていたが、今はタブレットになっていると聞いている。

他の自治体では、子どもへの連絡が夜10時、11時を回ってから入り、とても家庭では対処できないといった話も聞いているが、里庄ではどうなのか。

教育長 連絡は、学年によってタブレットや手帳に書いて帰っている。タブレットでの連絡は、夜10時とか11時頃になっているという記録はない。事前連絡を夜9時前に送ることもあるが、里庄においてはそういった問題は現在のところ起きていない。



タブレットで宿題をする子どもたち

ココを問う

チェック 令和6年度 決算質疑

4日間予算決算委員会で審査

令和7年度補正予算及び令和6年度決算は9月8日から11日までの4日間にわたり、関係当局の出席を求めて説明を聴取しながら、慎重に審査を行いました。

質疑の主な内容をお知らせします。



【総務課】

問 町営駐車場管理経費について、歳入が600万円強に対し、歳出が800万円と赤字になっている理由は。

答 利益を目的とした事業ではなく、駅利用者の利便性を維持するための事業であるため。

・里見川荘

問 里見川荘は建て替える必要があるのか。

答 建物は平成4年に建てられた。耐用年数は50年だが、長寿命化で20年延長され、令和54年まで使用可能と見なされている。

【上下水道課】

問 給水原価が160円から170円に上がっている理由は何か。

答 主な原因は、修繕費や材料費の高騰である。今後、老朽化対策事業費が発生するため、さらに上昇する可能性がある。

問 委託事業にある「毎日検査」とは具体的に何か。

答 浜中地区と手の際地区の末端において、毎日pHなど水質を検査してもらっているもの。これは、塩素濃度が薄くなることを防ぐ目的で行われている。

【教育委員会】

問 仁科財団の2100万円の内訳は。

答 職員の人件費、ロボコンにかかる費用、講演への補助金などになっている。

問 A.L.Tの帰国旅費が50万円になっているがどうなっているのか。

答 アメリカとアイルランドに帰国だが、協会の決まりに従ってやっている。

問 タブレットを80台買っているがそこまで必要か。

答 昨年は120台壊れた。ひび割れ、ジョイント部分、キーボードが外れたなどの障害があった。

問 柔道、剣道のスポーツ教室で指導している人への謝礼は。

答 武道館で週2回、夜間に指導してもらっている人への謝礼。推進事業としてやっている。

【まち整備課】

問 リフォーム補助金交付要綱120万円はどのようなものか。

答 リフォームの補助金であり、これには条件がある。

- ① 町内の人には使えない。
- ② 町外からの移住者。
- ③ 10年以上住んでもらう。

【農林建設課】

問 分館で要望のある狭い道路の補修・改修ができない分館については、そのままにしているのか。

答 要望の90%は施工している。できない場合は、分館長に理由を連絡している。



里見川荘

【町民課】

問 指定ゴミ袋の経費を差し引くと赤字となるが、改定価格を考えているのか。

答 物価高騰もあるので、今後検討する。

●町営墓地

問 町営墓地返還の理由は、

答 永代供養や他に変わったのか理由はわからない。

問 墓地の返還もあるので、条件を緩和しては。

答 駐車場からすぐの位置に墓地はあり、条件はいないので利用者は増えるとも考えている。条件は慎重に検討する。

【企画商工課】

問 里庄町PR動画、建物だけの説明でなく工夫できないか。

答 費用もかかるので、今回は考えていなかった。

問 カレーなんかのスタンプラリーにより来客は増えたか。

答 令和6年度はPRにとどまるが、7年度は増えた。

問 振興計画を委託し作成したが、その業者は里庄の知識はどの程度あるのか。町はどの程度関与しているのか。

答 各課に聞き取りを行いそれをもとに取りまとめ作成したので、ある程度町も関与している。パブリックコメントも行った。

問 寄島里庄線のバス、昨年と比べ乗車数の推移と町民の利用者数は。地域公共交通会議ではどのような議論があったのか。

【健康福祉課】

問 高校生の医療費給付額が、令和4年度、238万円、令和5年度、913万円、令和6年度、129万円と年々増えている。その理由は。

答 高校生も対象となったことが浸透してきたことと、昨年は入院した人が多かった。

こんな意見もありました

【農林建設課】

池ののり面については、木を切るなどしっかり整備してほしい。

【総務課】

将来、里見川荘の建て替えも考えた運営をしてほしい。

里見川荘には、町内在住の人を優先に入居できるように考えてはどうか。

委員長報告

◆予算決算委員会

9月8日から11日までの4日間にわたり関係当局の出席を求め、説明を聴取しながら慎重に審査しました。

令和6年度里庄町一般会計決算の認定については、学校におけるタブレット80台の購入、保育園給付費の増加の理由、キヤラクターグッズの売り上げの減少に伴い、生産を抑え在庫が増えないようにしていると説明がありました。

また、補正予算については9議案全て、全会一致で認定すべきものと決しました。

令和6年度里庄町営墓地特別会計については、現在残っているとあるが、駐車場のアクセスもよく将来的に利用を考えている人もいるといった説明があり、一般会計を含む9議案は全会一致で原案通り認定すべきものと決しました。



膨大な議会資料

陳情

政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情書

陳情趣旨

庁舎内において物品販売や勧誘行為を行う場合は、庁舎管理規則により、予め施設管理者の許可を得る必要があり、政党機関紙も同様に許可を得てない行為については改めてもらうとともに、機関紙の勧誘行為に関する実態調査のためのアンケートを実施して再発防止に努めてもらいたい。

勧誘行為の許可不許可の判断に際し、特定の政治的判断に加担する恐れの有無の判断とあわせ、勧誘行為に伴う心理的圧力に関し職員アンケートを通じ判断材料としてもらいたい。

総務文教委員会審査

里庄町役場構内取締規則には勧誘などの行為をする際は、町長の許可を得る必要があるものでこれを守らなければならない。

どの政党の機関紙を読む読まないは職員の思想信条の自由にも関わり、アンケートまでする必要はない、などの意見が出ました。

以上を踏まえた結果、全会一致で趣旨採択と決しました。

趣旨採択 4 : 0 反対

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情

陳情趣旨

子どもたちのゆたかな学びやきめ細かな教育の実施、学校における働き方改革の実現のためには、少人数学級の早期実現と教職員の定数改善が必要。

自治体が独自財源により人的措置を行っているが、国の施策として定数改善にむけた財源を保障し、地域による教育格差を生じさせてはならない。

総務文教委員会審査

教育環境が多様化し、指導内容も多種多様になる中、一人の教職員にかかる負担が大きくなっている。

義務教育費国庫負担率を引き上げ、自治体の負担を減らしてもらうことは当然。

国は定数改善に向け取り組むといいながら、毎年同じ陳情が出てくるのは状況が改善されず財源措置が不十分。もっと国へ要求すべき。などの意見が出ました。

以上を踏まえた結果、全会一致で採択すべきと決しました。

賛成 4 : 0 反対

発議

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書」

賛成 9 : 0 反対

賛否表

○…賛成 ×…反対

議案名		議員名										議決結果
		岡村咲津紀	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	田辺博樹	難波啓祐	岡本貴之		
定例会 9月	議案第32号	里庄町企業版ふるさと納税基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第33号	職員の育児休業等に関する条例及び里庄町職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第34号	令和7年度里庄町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第35号	令和7年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第36号	令和7年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第37号	令和7年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第38号	令和7年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第39号	令和7年度里庄町育英奨学資金給与特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第40号	令和7年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第41号	令和7年度里庄町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第42号	令和7年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第43号	令和6年度里庄町一般会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第44号	令和6年度里庄町国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第45号	令和6年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第46号	令和6年度里庄町育英奨学資金給与特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第47号	令和6年度里庄町介護保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第48号	令和6年度里庄町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第49号	令和6年度里庄町営墓地特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第50号	令和6年度里庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第51号	令和6年度里庄町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第52号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	報告第5号	令和6年度里庄町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報告のみ									
	報告第6号	令和6年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告										
	陳情第1号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規制の徹底を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
	陳情第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	発議第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担金引き上げに係る意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

人事

◆予算決算委員長

【辞任】眞野 博文 【新任】岡村 咲津紀

◆議会運営委員会委員長

【辞任】眞野 博文 【新任】佐藤 耕三

9月定例会

一般質問

町政を問う

9人の
議員が
登壇して
質問!

※一般質問の原稿は
質問者が作成して
います。

小野 光章 議員……………13P

- ① 町長の考えは
- ② つばきの丘運動公園リニューアル
- ③ 狭あい道路の解消に向けて

岡本 貴之 議員……………14P

- ① 子どもの登下校時の熱中症対策を
- ② 分館での草刈り後に防草シートを

眞野 博文 議員……………15P

- ① 第4次里庄町振興計画 後期基本計画より

佐藤 耕三 議員……………16P

- ① 放送設備は
- ② ドローンによる通学路の見回りを
- ③ 里見川荘の今後は

難波 啓祐 議員……………17P

- ① 第4次里庄町振興計画P121～122
「里庄町都市計画マスタープラン」とは
- ② 「里庄町カレーなんとか」の成果は

岡村 咲津紀 議員……………18P

- ① 避難所基準は

仁科 千鶴子 議員……………19P

- ① デジタル化の取り組みは
- ② 熱中症対策は

仁科 英麿 議員……………20P

- ① 1回500円とされている温浴施設の利用料は、
300円にできないか
- ② 新ごみ焼却施設と熱利用施設の今後の管理・運営
のあり方等
- ③ 農業支援などを目的として地域おこし協力隊員を
招致しては(2回目)

田辺 博樹 議員……………21P

- ① 土地取引の活性化は
- ② 靖国神社へのA級戦犯の合祀は
- ③ 町内小・中学生に対する歴史教育は
- ④ 野良猫への人道的対処は

小野 光章 議員



今後も町民の為に

町長／若い人に託す



問

三期目の出馬について、決断力、行動力を今後も町民のために発揮してもらいたい。町長の考えは。

町長

大勢の町民、また職員から支えてもらった。心から感謝をしている。

新しい発想と行動力を持った若い人に託すのが、町・組織に新たな推進力を生むのではないかとの結論に至り、今期をもって引退する。

グラウンド横にトイレを

農林建設課長／今後の研究課題

問

グラウンドサイドにトイレの設置について考えは。

農林建設課長

簡易的なトイレを設置した場合の費用、管理衛生面について研究したい。

問

野球場で設置したようなトイレの設置を。

農林建設課長

大きさ、場所、水道設備を考えなければならぬ。今後の研究課題としたい。

問

遊具広場へ人工芝の敷設を。

農林建設課長

子どもの安全性確保を第一に考えている。

どんな人工芝か、面積は、傾斜とか、費用対効果も含めて慎重に検討したい。



問

外部トイレは、暖房便座になったてない。

農林建設課長

暖房便座に取替える。便座を温める機能について、今後検討する。

問

駐車場の拡張を考えてもらいたいがどうか。

農林建設課長

現時点では考えていない。

問

狭あい道路の解消について、松尾地区の里見267号線、拡張の考えは。

農林建設課長

町として効果は小さいと考える。現時点では考えていない。

問

地元にとつての効果は計り知れない。如何か。

農林建設課長

緊急性、費用対効果を町内全体を考慮して検討していく。

町長

町内各所から、そのような意見をもらっている。

利用性、安全性、危険性が切迫しているとか、将来的に発展させていく計画が考えられるか、総

できることから

町長／優先度を考えて

問

合的なことを考えて、順位をつけるような格好で事業を進めている。

農林建設課長

大原西地区の里見1号線で、分割しても拡張を延長して欲しいが。

問

できるところから少しずつという精神で、取り組んで欲しいが。

町長

優先度をしっかりと考えながら、できるところから着実に進めていけたらと考えている。

各学校に熱中症対策グッズを 冷やす装置の設置は

教委事務局／現時点での設置は難しい



岡本 貴之 議員

今年の中国地方の梅雨は約3週間程度で終わり、以降今までは違え、かなり早い夏日、猛暑日が続いている。

問

登下校時にクールネックリングなど、熱中症対策グッズの使用は各家庭の考えで使用することは可能か。

教委事務局 局長 各学校における熱中症対策については、教育委員会と各学校長の連名により、各家庭において熱中症対策を講じてもらうよう文書を配布している。

その中で、登下校時における熱中症対策として各家庭で話し合ってもらい、子どもの安全を考えた上で、首回りを冷却するグッズなどを使用して

もらうこととしている。

問

各学校にクールネックリングなどを冷やすための装置は設置できないのか。

教委事務局 局長 熱中症対策の一環として有効性があるものと認識をしているが、全ての児童・生徒が使用しているものではないこと、また熱中症対策としてほかの手段があること、また冷却用機器を設置するスペースや使用頻度の問題が課題としてあり、現時点での設置は難しい。

今後は、児童・生徒の安全を最優先に考え、ほかの市町の事例や状況を研究しながら、設置の可能性を検討していきたい。

問

例えば装置を置くということでは

はなく、クーラーボックスに保冷剤などを入れて、帰る一、二時間前から冷やしてみること、下校時は涼しく帰れるのではない。

教委事務局 局長 運用面について、クーラーボックスを置くといっても、設置の場所の問題があり、運用をどのようにしていくか、そこに入れる保冷剤をどのように冷やして、誰がするのか、クーラーボックスの清掃であるとか準備をどのようにしていくか、こういったことも課題として考えていかなければならない。

分館での草刈り後に 防草シートの支給を

農林建設課長／支給を行う方向で
研究していきたい

どの分館でも参加する人の高齢化問題などもあり、年々草刈り作業が大変になってきている。

防草シートを現物支給して分館で敷いてもらうと草刈りの回数も減り、負担が減るのではないかと思います。

問

分館での草刈り後に防草シートの現物支給はできないか。

農林建設課 課長 草刈りをされる人の高齢化が進む中で地域の人々の負担が少しでも軽くなるのであれば、草刈りが危険な箇所や困難な箇所について、防草シートの支給を行う方向で今後研究していきたい。

町長

町としてはできるだけ前向きに、防草シートを提供しながら、地域の環境美化に努めてもらえたらと考えている。

耐用年数や素材をよく研究をして、安定して設置ができる体制も取っていったらと考えている。

問

防草シートを使用することでのメリット、デメリットをどのように考えているか。

農林建設課 課長

メリットは、一定期間草刈りを行う必要がなくなる。

デメリットは、シートの下土の状態が確認できないこと。正しく設置をしなかった場合、強風などでシートが飛んでしまうと考えている。



顔見知りの関係の促進とは

町長／町が発展していくために必要

問

第4次里庄町振興計画後期基本計画が、実効性と透明性の高い計画なのかを尋ねる。

シビックプライドの意識を持つとは何か。

企画商工課長

自分たちの住む町の歴史、文化、資源を尊重し、愛着や誇りを感じるとともに、住民一人一人が地域の一員としての役割を自覚し、日常の身近な課題に目を向けて、周りと協力してこの町を自分たちのこととしてよくしていくことを考える。

問

世代間交流を図り、顔見知りになる関係の再構築の促進とは、どういうことなのか。

町長

町が、今まで以上に発展していくためには、つながりを継続して強める必要がある。

他の自治体のいい事業があれば、提示をしてい

問

住民の満足度を上げるためには、住民が求めるサービスと、町の施策が一致していることが大事。そこで、次のことは可能か。

デジタル技術を活用した対話促進としてAIチャットボットによる24時間対応の問合せ窓口の設置。

スマートフォンアプリやウェブフォームを活用したオンラインアンケートの活用。

オンラインツールを活用したハイブリッド型を含めた住民参加型のワークショップの開催。

総務課長

AIチャットボットによる問合せ窓口は、費用対効果と使いやすさを考慮しながら、研究を進める。

問

洪水浸水想定区域に里見川以外の河川が入っていないが、現在、岡山県が、令和7年度中に今立川、新庄川、鳩岡川、指田川の4河川の洪水浸水想定区域の指定を目指していると聞いている。

総務課長

路線バス寄島里庄線は、利用できる区間が短く、対象世帯数が少ない。起点終点の里庄駅を高岡か岩村に変更することができないか。

問

次期里庄町地域の公共交通計画の策定に向け、みなさんの意見を聞きながら里庄町の公共交通の在り方について研究したい。

企画商工課長

システムと業務プロセスの標準化。導入の際に、専門性のある外部人材を確保しなくても良いのか。

問

シティープロモーションの考え方を取り入れて、町の魅力を高めて発信するところ。町民にとって何が得られるのか。

企画商工課長

町への観光客や移住、関係人口が増え、地域の活性化につながる。また町が目指す愛着や誇りを感じ、シビックプライドの醸成につながる。

総務課長

国の支援、地域情報化アドバイザー派遣制度や民間人材の活用などを検討する。

音声の改善は

総務課長／向上させる予定

問

災害情報システムの音声は改善できないか。

総務課長

本年度、現在の女性の声から男性の声に変更し、これに伴うソフトウェアの更新を行い、聞き取りやすさを向上させる予定。

問

万が一の災害時に放送が流れないといったことがないよう、点検の意味も含め、以前のように公民館からの定時放送はできないか。

教委事務局長

ライフスタイルの変化により、定時放送が苦痛と感じる人もいる。

機器の確認は定期的に行っているので、定時放送の実施は考えてない。

問

ほかの分館との共鳴で聞き取りにくいこともあるが、その点での改善は。

総務課長

現在、37分館を2つのグループに分けて放送しているが、4つに分ける予定。これによりある程度解消できると考える。

一定の枠を設けては

総務課長／規定は順守する



佐藤 耕三 議員

問

入所している町内、町外それぞれの人数は。

総務課長

約4割程度が町内の人と認識している。

問

里見川荘入所にあたっての基準は。

総務課長

病状が落ち着いていて原則65歳以上の介護認定1以上で、入院を必要としない人のうち心身の状態や病状を考慮し入所の決定をしている。

住所要件などはない。

問

住所の規定がなければ、極端な場合、全て町民以外の人を利用し、町民が利用できない状況にもなりかねない。

総務課長

町民の利用できる一定の枠を設けてはどうか。必要性が高い人を優先的に入所させる規定があり、それは遵守する。

ただ、症状の程度が同じであれば町内在住者が人が優先されるよう配慮していると聞いている。

問

仮に町内の人が一人も入所していない場合、建て替えをするとなれば財源をどう考えるのか。

総務課長

現時点では建て替え、老朽化は検討していない。

問

里見川荘の黒字部分は一定の金額を町に入れ、残りは指定管理者と町とで折半しているが、割合の見直しが必要では。

総務課長

今のところは見直しは考えていない。

その他の質問

ドローンで見守りを。

Q千葉県東庄町では小中学生の下校時にドローンを活用している。

里庄町でもドローンを活用し見守りをしてはどうか。

A運用にあたり課題も多く、現在のところ考えていない。

難波 啓祐議員



第4次振興計画（後期）は

総務課長／人口減少に少しでも
歯止めをかけたい

問 里庄町都市計画
マスタープラン
とは。

**まち整備
課長** 将来の都市像や
都市づくりの目
標を定め、その実現に向
けた土地利用や都市施設
などの方針を定める計画
である。

問 玉島笠岡道路が
できるが、例え
ばその沿線沿いでどのよ
うな対応を考えているか。

町長 インターチェン
ジの関係で、川
南干瓜線ができるので土
地利用方針図というのが
このマスタープランに入
っている。その中には産
業治道サービスゾーンと
いう土地利用方針を示し
ている。

問 令和11年には目
標が、ほぼ現状
維持の10700人にな
っているが、何か対策は
あるのか。

**総務
課長** 大半の自治体で
は人口減少が起
こるものと思う。人口減
少を食い止めるための特
効薬はないと考える。

町の将来性を感じる取
り組みを進めることで、
住んでみたい、住み続け
たい、と思える街づくり
を進め、人口減少に少し
でも歯止めをかけていき
たいと考える。

問 Uターン、Iタ
ーン、Jターン
というのがあるが、これ
らを促進するための補助
はあるのか。

**まち整備
課長** 移住・定住の促
進と空き家の有
効利用を図るため、空き
家のリフォーム工事に対
して補助金を交付するが、
移住支援金のような制度
はない。

問 「カレーなんと
か」という企画
の成果はどうだったのか。

**企画商工
課長** この企画はカレ
ーを通じて里庄
町を盛り上げることがで
きればと昨年から取り組
んだ。

昨年はガイドマップを
作成し、企画の内容や店
舗の周知に務めた。

また、スタンプラリー
という周遊性を持たせた
ことにより、町内外の人
に行ったことのない店を
訪問してもらうことがで
き、里庄町の認知度とイ
メージを高めることで、
町の魅力の再発見や関係
人口の創出、拡大につな
がったと考える。

スタンプラリーでは、
172件の応募があった。

企画の成果は

企画商工課長／町の魅力の再発見
につながった

問 時期的にはどう
だったのか。

**企画商工
課長** 5月開始の自治
体主体のスタン
プラリーはあまり数がな
く、早期に取り組むこと
で話題性が生まれ、参加
者が増えるのではないかと
考え、取り組むことに
した。

また、10月から1月に
かけて、里ちゃん・まこ
りんビンゴスタンプラリ
ーを計画している。



避難所の運営は

総務課長／基準に合うように改正

問

昨年12月、政府は自治体向けの避難所運営指針を改定し、1人当たり3・5㎡の占有スペースと災害発生初期段階で50人に1基のトイレを用意するよう、自治体向けに避難所運営指針を改定した。

国際基準のスフィア基準は、給水・衛生・避難所での居住空間の確保など生命を守る権利を反映した最低限の条件が指標化されている。政府が明記した避難所のトイレの数や居住空間の確保について町はどのように考えているのか。

総務課長

町の避難所の占有は、スペースを2・0㎡で計算し、この建物に何人避難ができる

るかで計算している。令和7年度に地域防災計画の見直しを行うので、収容基準に合うように改正していきたい。

問

災害時の避難所は、何力所あり何人避難できるのか。

総務課長

指定緊急避難場所が、公会堂をはじめ33力所あり、屋内875人が避難できる。指定避難所が東・西及び中央公民館をはじめ公共施設が14力所あり、屋内4000人が避難できる。

国際基準で、計算すると指定緊急避難場所には

屋内500人、指定避難所は屋内2286人の収容となる。

問

避難所でのトイレの整備は。

総務課長

携帯トイレを4400回分確保している。

問

停電時の電力確保は。

総務課長

東・西小学校、中学校の体育館及び里庄町立図書館にソーラーパネルを利用した非常用電源を整備している。

問

飲料水の確保な

総務課長

断水時の飲料水は、2ℓのペットボトルの天然水180本を確保している。役場敷地内及び図書館に設置している自動販売



岡村咲津紀 議員

問

防災無線の通信手段の確保などは。

総務課長

通信手段は、職員に、災害時優先電話の登録をした携帯電話を5本購入。消防団は、移動系無線機を各部2本ずつ貸与しており、町との通信を確保している。

町民向けに、NTT西日本株式会社と協定を締結し、中学校体育館に災害時優先電話の回線を引き込み、災害時には無償で使用できる。戸別受信機、分館放送、スマートフォンアプリ「防災サポ」を通じて通信手段の確保を行っている。



※イメージ写真

防災グッズ

仁科千鶴子議員



デジタル担当課を

総務課長／まずは選任人材の登用を進めたい

問

第4次里庄町振興計画後期としてデジタル化に係る主な取り組みは。

総務課長

①電子決済の導入や保存文書の電子化。

②公共施設での公衆無線LAN、Wi-Fiの整備。

③AIなどを活用したシステム導入。

④書かない窓口の検討、回らないワンストップ窓口。

⑤町職員のICTリテラシーの向上に取り組む。

問

子育てアプリの状況は。

健康福祉課 参事

問診票入力、検診結果の確認、保護者の負担軽減になっているので登録者数は順調に伸びている。

問

防災アプリの活用状況は。

総務課長

昨年比113%増加し、役場から配信107件、分館長

からの配信は144件と増加している。

問

今現在取り組んでいることを具体的に。

総務課長

勤怠管理システムの導入後時間外勤務や出張命令などの電子決済となる。

上下水道課では保存文書の電子データ化、つばきの丘運動公園に公衆無線LANの整備に取り組んでいる。

また生成AIやチャットボットの技術の活用や書かない窓口を検討。費用対効果の面も検討する。

問

IT企業から職員研修とかするの。

総務課長

令和5年度に生成AI、CHAITGPTの研修を実施したが、成果が目に見えてこないの、令和6年と7年はしていない。検討していく。

問

職員が行政内アプリをつくることにより、業務量が削減され町民サービスに余裕ができる。

予約アプリの状況は。

総務課長

公用車利用予約・庁舎内会議室の予約システムがあるが、町民向けは、現在整備されていない。

近隣自治体で今取り組んでいる情報もあるので研究をする。

問

デジタル担当課をつくるべきでは。

総務課長

情報担当職員の専任化や担当職員の複数を検討して、国の制度や民間人材の活用を含めて、選任人材の登用をまずは進めていきたい。

熱中症対策義務化

総務課長／周知している

問

今年熱中症になった人数は。

健康福祉課 参事

75人が笠岡地区消防組合で救急搬送されている。

問

一人暮らしの高齢の人など、対策をとっているのか。

健康福祉課 参事

広報紙、防災アプリで注意喚起をしている。独居高齢者の訪問時などで直接声をかけている。

問

熱中症対策の補助金はあるのか。厚生労働省の補助金があるが、町からの広報はしていない。

健康福祉課 参事

町独自の補助金はない。

問

熱中症対策が義務化されて、職員の労働体制はどうか。

総務課長

熱中症のおそれがある人に対する処置が一目でわかるフローチャートであるとか、作業は複数人でする、適宜休憩をとるなど職員向けに周知している。

問

対策は。

総務課長

送風ファンのついている。作業時間を短時間に、クールダウンの時間を設けるなど実施している。様々な対策商品が販売されているので、必要に応じて購入を検討していきたい。

風呂の利用料、

地元は300円に

町長／里庄町などだけ安くする考えはない



仁科 英磨 議員

問

来秋供用開始予定の金山の余熱利用施設の利用料は、高すぎるという声がある。特に風呂の500円。里庄町民は他の地域より安く、さらに地元金山干瓜、堂迫はもう一段安くして欲しいが、どうか。

副町長

3市2町の組合の施設であり、里庄町民だけ減額することとはできないと考える。井笠管内とそれ以外の形になると聞いている。

問

管内はどれだけ安くするのか。迷惑施設を引き受けた里庄町民にはさらに割り引いてよいのでは。

副町長

指定管理者が決める。幾らかは

まだ聞いていない。

問

風呂は管内450円、里庄町400円、3地域300円で要望を上げてはどうか。

町長

管内の料金は統一し、管外は少し高めにということで、里庄町などだけ安くする考えは持っていない。

問

一番利用して欲しいところは安くして何回も利用していただき、収支を合わせていくのが、経営の在り方。大人2人子供2人で900円なら、自宅の風呂代わりに行ける。行政も一緒に要望を。

町長

そういう要望をする考えはない。

問

地域の商店で買ってくれたら割引券を出してはどうか。いい制度だとは思いますが、組合は設けない考えと聞く。

副町長

問

収支見通しはどうなっているか。西部組合に確認が必要。

副町長

問

赤字が出たら、案分して出してくれということになるかもしれないがどうか。当町から答えることはできない。

副町長

問

もっと広報すべきではないか。しっかり広報、周知を図る。

課長

問

小中学校は、どう利用するのか。メリット、デメリットを踏まえ、教育・授業の一環としての利用に向けて検討中。

教委事務局長

問

新ごみ焼却場などは、事業の規模・施設の性格から見、現地に本部があり、民間だけでなく、行政も管理者として常駐していることが望ましい。

町長

6月議会後、組合の管理者・副管理者はどのような議論をされたか。新焼却場が西部衛生の管理になることは、令和2年の同組合規約の変更の可決により、既に決定している。前回、事務所を焼却場の所に移す考え方もあると言ったが、最終的には、笠岡の干拓にある施設の管理上、現在の場所が適当との結論に達した。

問

今西部環境も残っている。だからこの際、新施設を西部環境に移管したらどうか。西部環境を残す考えは、今ない。

町長

問

まだ廃止するとは決めてない。

決めるのは、議会だ。

新焼却場の管理運営は、エコサービス井笠に丸々任せることになっているが、緊急時や災害時、異常事態発生時にちゃんと対応できるのか。

副町長

入札時の要求水準書に、組合へ速やかに状況報告するとともに適切な対応を行うことと定めており、現在マニュアルを作成中。優れたノウハウも持っている。

その他の質問

農業支援などでの地域おこし協力隊の招致について

Q 検討の状況は。

A 活用事例などを研究。

Q 協力隊員招致以外での農業へのいい対策は。

A 一自治体では難しい。現在の施策を推進する。

Q 農業以外にもいろいろなミッションが考えられるが、どうか。

A 貴重な意見として賜わっておく。

新焼却場などは西部環境に移管を

町長／西部環境組合を残す考えはない



土地の売買活性化の策は

まち整備課長／町独自の施策は行っていない

問 町民の大切な財産である土地の取引、売りたい人が、売りたいとき、納得のいく価格で売れているかというところ、難しい問題と思う。

町は土地の売買活性化のため何らかの策を取っているのか。

まち整備課長

まち整備
課長 当町においては、
土地売買に関する町独自の施策は行っていない。

問

問 何もやらないと
じり貧になるの
ではないか。コンパクト
タウンの特性を生かして、
まちを公園都市化すれば
こんなきれいなまちに住
みたい、こんな環境のい
いところに工場を建てた
いという、人間心理に訴
える大きなインパクトに
なるのではないか。

まち整備課長

まち整備課 当町では全域が都市計画区域となっており、市街化区域調整区域の線引きもしていない。用途地域指定もないが、反面制限されて

いないことで多くの企業
立地や宅地開発が進んで
きた事実もある。教育や
福祉施策を中心とした各
種施策を総合的に充実さ

せることで、住みやすく魅力的なまちにすることが重要であると考えている。町を公園都市化する考えはない。

合祀についての見解は

町長／自治体の長として

答弁は差し控える

問

問 日中戦争では隣国中国の非常に多くの人々の人命を奪い、深い傷を負わせた。80年も経ったのだから、もういいだろうということはない。こちらから言えることではない。一般の兵士を祀ることにしては、中国政府は何も言っていない。トップであるA級戦犯7名を靖国神社に合祀することだけはやめてくれと言っている。

このことについて、自治体の長としての町長の見解を尋ねる。

町長

町長 合祀については中国、韓国の批判もあり、我が国の政治家の考え国民感情もある。私が自治体の長として、こう思うという答弁は差し控える。

その他の質問

Q 野良猫対策で長野県の例は活用できないか。

歴史教育はどのように

教委事務局長／学習指導要領に
基づいて行っている

問

問 太平洋戦争について、どのように歴史教育しているのか。

問

問 戦後の日中関係については、どのように教育しているのか。

局長 教委事務

教委事務局長 1972年に国
 交正常化、1978年に日中平和友好条約を結んだこと。日本と関わりの深い国の一つとして経済面での関係。中国の教育や暮らし、中国の経済発展とともに関係が深まっていったことなど学習している。

局長 教務事務

教委事務局長 1972年に国
 交正常化、19
 78年に日中平和友好条
 約を結んだこと。日本と
 関わりの深い国の一つと
 して経済面での関係。
 中国の教育や暮らし、
 中国の経済発展とともに
 関係が深まっていったこ
 となど学習している。

みよい地域にしてい
く活動をしている。
岡山県でも、岡山県
動物愛護センターが地
域猫活動支援事業を実
施しているので、町と
してセンターを紹介し
ていこうと考えている。

長野県の民間病院では、動物移動手術車で、猫の不妊去勢手術を行っている。地域の野良猫を減らすため地域住民が主体となり、餌や糞の始末、継続的な管理をしていくことで、不幸な猫の数を減らし住

シリーズ こんな活動 しています! 第20回

里庄町文化協会 茶道部

「一碗のお茶に心をこめて」をモットーに日本の伝統文化である茶道の精神と技術を和やかな雰囲気の中で学んでいます。現在、八人の会員で、互いに教えあいながら楽しく活動しています。活動は、毎月第一土曜日の午前中、仁科会館の和室にて行っています。単にお茶を点てる作法だけでなく茶室での美しい立ち居振る舞いや、客人を心から迎える「おもてなしの心」も重視しながら学んでいます。四季折々の花や掛軸、お道具を設えることで、日本の季節の移ろいと美意識を五感で感じることが出来るのも魅力のひとつです。流派の垣根を超え、茶道を持つ「一期一会」の精神を通して、心静まるひとときを過ごしています。

私たちは、日頃の稽古の成果を地域に還元したいと思っています。毎年秋の産業文化祭にてお茶席を設け、多くの人にお越しいただき日本の伝統に触れていただいています。文化祭のお茶席では、会員一同心を尽くし、一服のお茶とお菓子でお客様をおもてなします。茶道の魅力を伝える一助になれば幸いです。日本の伝統美に触れた人、落ち着いた趣味を見つけない人、楽しくお茶をいただきたい人、ぜひ一度、仁科会館のお稽古を見学にお越し下さい。会員一同、心よりお待ちしております。



《第122号》

令和7年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとかき

雲外蒼天 (うんがいそうてん)

困難を乗り越えれば、その先には青い空が待っているということ。この「雲」とは、あらゆる困難を表しています。逆境は長くは続きません。必ずその先には清々しい晴天が待っているはずです。

皆様のご意見やご要望をお寄せください。

(難波)



編集委員 委員長：佐藤耕三 副委員長：岡本貴之
委員：仁科千鶴子 委員：田辺博樹 委員：難波啓祐

令和7年12月定例会は、11月28日(金)から始まる予定です。